

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

資料1-1

施策目標1

市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	過去1年間に1回以上文化芸術の鑑賞を行った市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	80.0%	10人中8人が文化芸術を鑑賞している状態にすることを目標としました。										
実績値	H25 74.0%	H26 －	H27 －	H28 75.0%	H29 －	H30 65.9%	R1 －	R2 －	R3 43.9%	R4 －	R5 60.1%	R6 －

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	自ら文化芸術活動を行っている市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	40%(R5) 42%(R6)	各事業において、文化芸術を体験する機会を増やし、毎年2%程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 35.0%	H26 －	H27 －	H28 34.0%	H29 －	H30 30.5%	R1 －	R2 －	R3 17.8%	R4 －	R5 22.0%	R6 －

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合【総合計画掲載指標】 :総合計画に関する市民意識調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	59.5%(R5) 61.5%(R6)	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年2%ずつ増加させることを目標としました。										
実績値	H25 39.5%	H26 －	H27 －	H28 45.7%	H29 －	H30 60.2%	R1 －	R2 －	R3 48.2%	R4 －	R5 51.2%	R6 －

【総合評価】

・新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛やイベントの中止又は規模縮小などが続いたことで、文化芸術に関する活動が著しく減少し、いずれの項目も一時期、実績値が大きく落ち込みました。

・その後は各項目とも回復基調を示していますが、令和5年度時点においてはコロナ前の水準には戻っていません。

・特に項目2については、長期間にわたり活動が制限されたことで、多くの文化芸術団体が十分な活動を行えず、結果として活動停止やそのまま解散に至ったケースが少なくないことが考えられます。

・項目3についても、こうした自粛の意識が根強く残ってしまった結果が反映されたものと捉えていますが、このほか、非接触で入手できるデジタル媒体での情報発信が十分でなく、開催情報等が届いていないことも要因として考えられるため、その取組を着実に進めることで目標の達成につなげていきます。

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標2

地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合【総合計画掲載指標】 :総合計画に関する市民意識調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	45.5% (R5) 46.5% (R6)	文化財に対する関心を高める取り組みを進め、毎年1％程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 39.2%	H26 －	H27 －	H28 38.3%	H29 －	H30 42.3%	R1 －	R2 －	R3 38.4%	R4 －	R5 39.4%	R6 －

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	歴史文化施設の利用者数【総合計画掲載指標】 :郷土民家園(カウンター数)＋つる舞の里歴史資料館＋鶴間ふるさと館利用者(入園者・入館者)数											
目標値・ 目標値の設定理由	61,200人	郷土民家園(カウンター数)、つる舞の里歴史資料館、下鶴間ふるさと館利用者3館の入園、入館者数を過去5年の最高値(61,216人)を上回ることを目標としました。										
実績値	H25 41,405人	H26 44,502人	H27 43,346人	H28 43,787人	H29 39,997人	H30 54,443人	R1 47,760人	R2 37,516人	R3 50,280人	R4 42,607人	R5 37,025人	R6 39,976人

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	つる舞の里歴史資料館企画展の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で実施											
目標値・ 目標値の設定理由	20.0% (R5) 21.0% (R6)	本イベントの魅力をPRし、認知状況を毎年1％程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 30.0%	H26 －	H27 －	H28 31.0%	H29 －	H30 13.8%	R1 －	R2 －	R3 19.1%	R4 －	R5 20.8%	R6 －

【総合評価】

- ・項目1については、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に落ち込みが見られたものの、その後は回復基調を示しています。地域の伝統行事やお祭りといった、文化継承を体感できる機会が相次いで中止または縮小されたことが理由と考えられます。
- ・項目2の歴史文化施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、大和ゆとりの森ややまと公園がオープンしたことにより、郷土民家園のある泉の森の来園者数が減少したことも一因と考えられます。
- ・項目3については、年1回開催している特別展をつる舞の里歴史資料館から来館者の多いシリウスに会場を移したり、企画展を複数回開催したりしたことが、成果に表れたものと捉えています。
- ・このような取組は、長期的な視野に立ち、環境やニーズの変化に対応しながら、小さな成果を積み上げていくことが重要と考えているため、今後も多くの市民の地域の歴史と文化への理解と関心を高めていけるよう努めていきます。

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標3

すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	市立小・中学校の文化芸術鑑賞・体験1校あたりの実施回数 :(文化芸術鑑賞・体験授業の年間実施回数合計／全市立小学校数)+(同/全市立中学校)											
目標値・ 目標値の設定理由	5.0回 3.6回＋ 1.4回	芸術鑑賞授業、対話による美術鑑賞授業をすでに全小学校実施していることや授業時間に限りがあることから、毎年いずれかの学校で1回程度ずつ増やすことを目標としました。										
実績値	H25 3.5回	H26 3.8回	H27 4.3回	H28 4.5回	H29 4.7回	H30 5.3回	R1 4.4回	R2 0.6回	R3 2.5回	R4 2.8回	R5 3.5回	R6 4.4回

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	対話による美術鑑賞を実施するガイドスタッフ1人当たりの児童数 :美術鑑賞授業に参加した児童数の合計/美術鑑賞授業に参加したガイドスタッフの合計											
目標値・ 目標値の設定理由	5.0人	子どもたちに質の高い美術鑑賞授業を提供するために必要なガイドスタッフの派遣人数(学校授業13人程度、美術館訪問16人程度)を確保することを目標にしました。										
実績値	H25 5.3人	H26 5.8人	H27 5.0人	H28 5.4人	H29 5.6人	H30 5.9人	R1 6.5人	R2 中止	R3 6.5人	R4 6.9人	R5 4.7人	R6 4.6人

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	美術館等で対話による美術鑑賞を行った児童が美術作品に興味を持った割合 :対話による美術鑑賞に参加した児童のアンケートで測定											
目標値・ 目標値の設定理由	85.5%	日ごろの授業を通して、児童が美術作品へ興味を持てるよう指導し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 —	H26 —	H27 —	H28 —	H29 —	H30 80.6%	R1 82.0%	R2 中止	R3 96.6%	R4 96.4%	R5 94.0%	R6 98.0%

【総合評価】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業の中止や実績値の大幅な落ち込みがみられましたが、その後は各項目とも回復基調を示しています。
- ・中でも特筆すべきは、項目3がコロナ以降、大きく伸びている点です。
- ・感染拡大防止の観点から、様々な活動が制限されていた時期を経験した児童にとって、美術作品にじっくりと向き合う機会は新鮮で、これまで以上に強い関心や感動を呼び起こしたものと考えられます。
- ・今後も、教育委員会とも連携しながら、子どもたちが多様な文化芸術に触れ、その魅力を実感できるような環境づくりを進めていきます。

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標4

文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 ：計算式等	仮称：やまと文化芸術サポーター制度の設立に向けた調査研究及び人材育成											
目標値・ 目標値の設定理由	制度 設立	誰もが文化芸術の担い手として主体的に参加できる仕組みを制度化することを目標としました。										
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	—	—	—	—	—	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究	制度設立	—

※やまとみらいパートナー

【項目2】

モニタリング項目 ：計算式等	イラストレーションデザインコンペの年間応募者数 ：イラストレーションデザインコンペに応募した人数の合計											
目標値・ 目標値の設定理由	470人	過去5年の最高値(463人)を踏まえ、それを上回ることを目標としました。										
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	334人	463人	196人	424人	317人	342人	396人	416人	404人	373人	334人	368人

【項目3】

モニタリング項目 : 計算式等	イラストレーションデザインコンペ入賞者への年間制作依頼件数 : イラストレーションデザインコンペ入賞者にイラスト制作を依頼した年間件数											
目標値・ 目標値の設定理由	40件(R5) 43件(R6)	毎年3件ずつ増やしていくことを目標としました。										
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	13件	26件	17件	12件	19件	20件	16件	11件	20件	21件	17件	31件

【項目4】

モニタリング項目 ：計算式等	やま子ども伝統文化塾受講者数 ：やま子ども伝統文化塾の受講者数の累計											
目標値・ 目標値の設定理由	2,200人	過去5年間の平均年間受講者(200人程度)を踏まえ、日本の伝統文化をを習得した子どもを倍以上にすることを目標としました。										
実績値	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	419人	521人	684人	860人	1,065人	1,356人	1,594人	1,690人	1,894人	2,125人	2,399人	2,709人

【総合評価】

- ・いずれの項目も、大和の文化芸術の担い手を育てる取組として、着実な成果を挙げていると考えます。
- ・項目3のイラストレーションデザインコンペ入賞者への年間制作依頼件数については、入賞者リストを作成し、積極的に周知を図った結果、令和6年度には、その件数が過去最高となりました。
- ・これにより、若い世代のイラストレーターとしての活躍の場が広がり、創作活動の促進を図ることができたと考えています。
- ・また、項目4のやまと子ども伝統文化塾の受講者数についても、塾生が毎年着実に増加しており、文化芸術を牽引する人材の育成が着実に進んでいると評価しています。

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標5

大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	文化芸術イベント全体の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	75%(R5) 77%(R6)	あらゆる情報媒体を活用するなど、文化芸術イベントを周知する取り組みを推進し、毎年2％程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 75.0%	H26 －	H27 －	H28 80.0%	H29 －	H30 62.9%	R1 －	R2 －	R3 65.0%	R4 －	R5 72.2%	R6 －

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	やまと芸術文化ホール年間利用者数【総合計画掲載指標】 :やまと芸術文化ホール(メインホール・サブホール・ギャラリー・マルチスペース)利用者数											
目標値・ 目標値の設定理由	324,000人 (R5) 327,000人 (R6)	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1％程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 －	H26 －	H27 －	H28 121,680人	H29 306,018人	H30 255,465人	R1 225,063人	R2 43,931人	R3 104,520人	R4 182,885人	R5 209,782人	R6 232,133人

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	やまと芸術文化ホールのホームページにアクセスした年間件数 :やまと芸術文化ホールのホームページにアクセスした年間件数											
目標値・ 目標値の設定理由	598,000件 (R5) 598,500件 (R6)	文化芸術振興のための取り組みを推進し、毎年1％程度ずつ伸ばすことを目標にしました。										
実績値	H25 －	H26 －	H27 －	H28 270,426件	H29 594,284件	H30 726,469件	R1 543,923件	R2 274,112件	R3 344,908件	R4 406,412件	R5 519,864件	R6 510,982件

【項目4】

モニタリング項目 :計算式等	YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント【総合計画掲載指標】 :YAMATO ART100として採用した文化芸術イベント数											
目標値・ 目標値の設定理由	100件以上	過去5年の最多採用数(103件)を踏まえ、現状を維持することを目標としました。										
実績値	H25 71件	H26 82件	H27 92件	H28 84件	H29 103件	H30 102件	R1 107件	R2 49件	R3 54件	R4 78件	R5 128件	R6 134件

【総合評価】

・いずれの項目も、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時期、実績値が大きく落ち込みましたが、その後は各項目とも回復基調を示しています。 ・特に項目4のYAMATO ART100の採用文化芸術イベントについては、行政や公的機関だけでなく、カフェなどの民間施設からの応募も多くなるようになり、官民間わず、大和の文化芸術を皆で盛り上げようという思いが、市全体に浸透してきていると感じています。 ・項目3のやまと芸術文化ホールのホームページ件数については、令和4年度からSNSを通じた情報発信を開始したことにより、ホームページのアクセス件数の伸びがやや鈍化しているものの、高い水準にあると評価しています。 ・今後も、PR媒体それぞれの特性を活かし、相互に連携しながら効果的な情報発信を行うことで、大和の文化芸術の魅力をさらにアピールしていきます。
--

大和市文化芸術振興基本計画[第3期] 実績評価

施策目標6

多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

■基本計画で定めているモニタリング項目と目標及び実績

【項目1】

モニタリング項目 :計算式等	多文化共生・国際交流が行われていると思う市民【総合計画掲載指標】 :総合計画に関する市民意識調査											
目標値・ 目標値の設定理由	29.5% (R5) 30.5%(R6)	第2期計画期間中の達成状況を踏まえ、毎年1％程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 19.8%	H26 －	H27 －	H28 22.3%	H29 －	H30 31.3%	R1 －	R2 －	R3 26.4%	R4 －	R5 33.3%	R6 －

【項目2】

モニタリング項目 :計算式等	文化芸術に期待する役割に「多文化共生」を挙げる市民の割合 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	20.0% (R5) 21.0%(R6)	文化芸術による多文化共生社会の現実に貢献する活動を推進し、毎年1%程度ずつ伸ばすことを目標としました。										
実績値	H25 －	H26 －	H27 －	H28 －	H29 －	H30 13.7%	R1 －	R2 －	R3 16.4%	R4 －	R5 21.1%	R6 －

【項目3】

モニタリング項目 :計算式等	やまと世界料理の屋台村の認知状況 :文化・芸術に関する市民アンケート調査で測定											
目標値・ 目標値の設定理由	35.0%	国際化協会と協力し、本イベント魅力をPRし、2018年度の調査時に認知状況が最も高い大和市文化祭一般公募展(33.0%)を上回ることを目標としました。										
実績値	H25 32.0%	H26 －	H27 －	H28 34.0%	H29 －	H30 16.3%	R1 －	R2 －	R3 27.0%	R4 －	R5 16.4%	R6 －

【総合評価】

-
- ・項目1、項目2については、文化芸術を通じた多文化共生社会の実現を目指す取組として、着実な成果を挙げていると考えます。
 - ・中でも項目1については、国際交流イベントの中止又は規模縮小が相次ぎ、市民が直接的に異文化に触れる機会が失われたことから、令和3年度の実績値が落ち込みましたが、その後は徐々に再開され、回復基調を示しています。
 - ・項目3については、令和6年度で事業が廃止となりましたが、今後も外国の文化等への理解が深まるよう、国際化協会と連携しながら様々な啓発等に取り組んでいきます。